

第一三一回

川崎市定期能

川崎市市制一〇〇周年記念



能「乱」金春安明
(撮影:辻井清一郎)



能「高砂舞序破急」高橋忍
(撮影:辻井清一郎)

能

乱
【みだれ】
金春安明(金春流)

狂言

空腕
【さらうで】
大藏彌太郎(大藏流)

第一部

15時00分開場
15時30分開演

狂言

蟹山伏
【かにやまぶし】
大藏教義(大藏流)

能

高砂
【たかさごまじまじはまゆうのてん】
舞序破急ノ伝
高橋忍(金春流)

第一部

12時30分開場
13時00分開演

2024年3月9日(土)

会場:川崎能楽堂

入場料(全席指定):各部 正面席 4,500円、脇正面・中正面席 4,000円

U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

■チケット発売 2024年2月5日(月)10:00より発売(先着順)

■販売方法
*取扱い座席は
全て共通です。

電話申込

- ①川崎能楽堂 TEL.044-222-7995(10:00~17:00、水曜日休日)
- ②カンフェティ TEL.0120-240-540(平日10:00~18:00)
- *②は席種のみ指定可。発券まで座席番号は分かりません。
- *①・②共にセブンイレブンの支払・引取、またサービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。

インターネット
申込

カンフェティ(GETTIIS) https://confetti-web.com/kbz_noh131
 *GETTIISへの事前会員登録が必要です(登録無料、カンフェティ会員とは異なります)。
 *クレジット決済・セブンイレブン支払が選択でき、引取はセブンイレブンになります。
 *サービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。

窓口申込
※2月6日から

川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37(10:00~17:00、水曜日休日)
 *残数があれば2月6日(火)10:00より販売いたします。
 *支払いは現金のみになります。



カンフェティ



川崎市文化財団



川崎市文化財団は川崎市市制100周年を応援しています。

主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

後援「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後はご入場いただけない場合がございます。また、都合により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

定期能をより楽しむための 事前講座

初めて見る方にもオススメ

- ◆日時:2月25日(日)13:00~14:30 ◆会場:川崎能楽堂
- ◆講師:金春流・シテ方 高橋忍、辻井八郎、山井綱雄、中村昌弘
- ◆定員:148名(先着順) ◆料金:無料

*第131回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。
 *受講をご希望の方はチケットご購入の際にお申し出いただくか申込フォームよりお申し込みください。



事前講座申込フォーム

能 高砂 舞序破急ノ伝

後シテ尉 井上 貴覚 高橋 忍

横山 紳一 後見 村岡 聖美

渡辺 慎一 中村 昌弘 大塚龍一郎 後藤 和也

狂言 蟹山伏 シテ山伏 大藏 教義

アド強力 大藏 章照 アド蟹の精 吉田 信海

能 高砂 【たかさごまいじよはきゆうのんでん】

舞序破急ノ伝

九州肥後の国、阿蘇宮の神主友成は、都見物に向かう途中、播州高砂の浦に立ち寄ると、松の木陰を掃き清める尉と姥が現れます。友成は老夫婦に高砂の松を尋ね、また高砂の松と住吉の松が離れているのに、なぜ「相生」というのか理由を尋ねます。尉は、この松こそが高砂の松であること、たとえ離れていても夫婦の心が通い合うこと、かく言う尉は住吉に住む者であり、姥は高砂に住む者だと言います。そして二人は、さらに松についてめでたい故事を引いて、御代を寿ぎます。そして、実は二人は、相生の松の精が夫婦の姿で現れたのだと正体を明かし、住吉で待つっていると告げると、小舟に乗って沖の方へと姿を消してしまいました。

友成は土地の者から相生の松のいわれを聞き、先ほどの老夫婦のことを話すと、土地の者は奇特なことだからと、さっそく自分の舟で住吉へ向かうよう勧めます。そこで友成は日の出とともに高砂の浦を出帆して、住吉へと急ぎます。

住吉へ着くと、すでに夜も更け、残雪が月光に映えています。するときらめく波間から住吉明神が出現して、千秋万歳を祝う舞を舞い、御代を寿ぐのです。

※「舞序破急ノ伝」の小書(特殊演出)により、常の神舞から緩急のついた舞になり、後シテの面装束も常と変わります。

能 蟹山伏 【かにやまぶし】

大峰・葛城(奈良県)で修業を終えた山伏が、供の強力を連れて帰郷する途中、横歩きをする異様な姿の者と出会います。二人は驚いて逃げ出しますが、それでは山伏の名折れと思いとどまり、恐る恐る声をかけます。異様なものの謎かけに對し、山伏が蟹の精と解くと、強力は、蟹ならば今晚のおかずにしようとな金剛杖を振りかざしますが、逆に耳を挟まれ、山伏は呪文を唱えて對抗しますが…。

能 空腕 シテ舞々 金春 安明

大鼓 安福 光雄 太鼓 桜井 均

小鼓 鵜澤洋太郎 笛 小野寺竜一

中村 昌弘 山井 綱雄 本田 芳樹 本田 光洋 大塚龍一郎 井上 貴覚

能 空腕 【そらうで】

狂言

空腕とは、空腕立て、つまり「カラ威張り」の事です。気の弱い太郎冠者ですが、いつもそれを隠すために「カラ腕自慢」をしています。主人の命で使いにしかけた太郎冠者は、用心のため主人から太刀を借りていましたが、臆病であるために物影におびえ、命乞いをして太刀まで差し出してしまいます。様子を見るため後をつけていた主人は怒って太郎冠者を打ち、太刀を取り上げて家に戻ります。気絶から目覚め太刀がないことに気付いた太郎冠者は帰宅し、主人に道中で大勢の男たちに襲われて戦ったので、太刀が折れてしまい、投げつけて逃げ帰って来たと言いますが…。

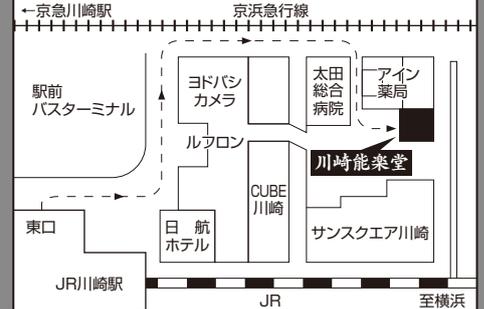
能 乱 【みだれ】

中国の金山の麓に住む高風は、大そう親孝行と評判の高い男で、夢のお告げに従って楊子の市で酒を売ると次第に富貴の身となりしました。

市が立つごとに高風の店へ来て酒を飲む者がいます。その男はいくら飲んでも顔色が変わらないので不審に思い、その名を尋ねると、海中に住む狸々だとあかして帰っていききました。そこで高風は、ある月の美しい晩、薄陽の江のほとりに出て、酒を壺に湛えて狸々を待つことにします。

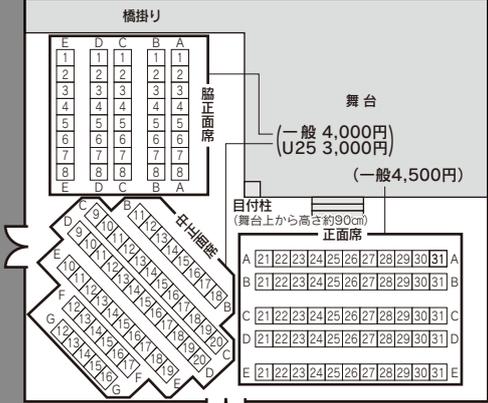
やがて狸々が波間から浮かび出て、高風と酒を酌み交わし、酒に酔い舞を舞い、高風の素直な心を賞し、泉のようにいくら汲んでも尽きない酒壺を与え、消えていきます。

※「乱」は、本来は能「狸々」の特殊演出であり、狸々が波の上をいかにもさまよい歩く変化に富んだ舞となっています。



JR川崎駅東口より徒歩5分
アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂(9:00~17:00※水曜定休日)
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表(148席)



※U25券は臨正面席・中正面席のみ選択可。
※C列、E列は前の列より一段高くなっています。

次回公演のお知らせ

人間国宝の競演
~友枝昭世と山本東次郎の至芸~

開催日:2024年5月3日(金・祝)
会場:川崎市麻生市民館大ホール
出演目:狂言「素袍落」山本東次郎
能「羽衣舞」友枝昭世
解説 馬場あき子

第49回川崎大師薪能

開催日:2024年6月28日(金)17時開演
会場:大本山川崎大師平間寺 特設舞台
(雨天時:信徒会館)

第132回川崎市定期能~喜多流~

開催日:2024年8月3日(土)
演目:【第一部】能「楊貴妃」中村邦生
仕舞1番 友枝昭世 他
【第二部】能「鶴」香川靖嗣
仕舞1番 友枝昭世 他

※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合もございますので予めご了承ください。